

# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ  
http://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/

石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7743(直)

2018年4月  
創立30年を  
迎えます

## 尾池守 石巻専修大学長 年頭の抱負

# オンリーワンの大学目指す



そんな状況の中で地方の小規模大学が生き延びるためにはオンリーワンの大学を目指す必要があります。2016年度に新

### 地域資源の統合 大学ブランドに

東日本大震災から6年、交通インフラなどの「モノ」の復興は進んでいますが、「心の復興」は緒についたばかりで、高等教育機関に対する地域の要望は強いものがあります。昨年4月に石巻専修大学長を拝命して以来、坂田隆前学長の路線を継承・発展すべく、2017年度の

### 「心の復興」に向け 強い地域の要望

東日本大震災から6年、交通インフラなどの「モノ」の復興は進んでいますが、「心の復興」は緒についたばかりで、高等教育機関に対する地域の要望は強いものがあります。昨年4月に石巻専修大学長を拝命して以来、坂田隆前学長の路線を継承・発展すべく、2017年度の

目ざす。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「心の復興」に向け強い地域の要望

東日本大震災から6年、交通インフラなどの「モノ」の復興は進んでいますが、「心の復興」は緒についたばかりで、高等教育機関に対する地域の要望は強いものがあります。昨年4月に石巻専修大学長を拝命して以来、坂田隆前学長の路線を継承・発展すべく、2017年度の

### 未来の視点もち 夢の実現へ進む

目ざす。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「心の復興」に向け強い地域の要望

東日本大震災から6年、交通インフラなどの「モノ」の復興は進んでいますが、「心の復興」は緒についたばかりで、高等教育機関に対する地域の要望は強いものがあります。昨年4月に石巻専修大学長を拝命して以来、坂田隆前学長の路線を継承・発展すべく、2017年度の



2016年度南東北大学野球連盟表彰式

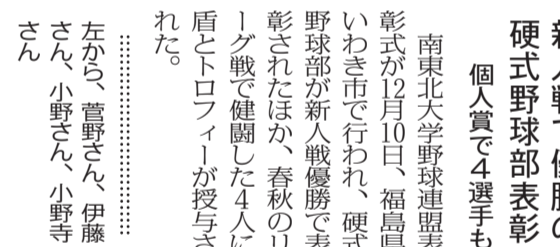
MTU  
ROUSE BALL LEAGUE  
南東北大学野球連盟

新人戦で優勝の硬式野球部表彰  
個人賞で4選手も

南東北大学野球連盟表彰式が12月10日、福島県いわき市で行われ、硬式野球部が新人戦優勝で表彰されたほか、春秋リーグ戦で健闘した4人に盾とトロフィーが授与された。



三森ゼミでは、判例集を読み込み、紛争解決にどのよう法が関わっているかを研究している。また法律知識習得のため、同試験の過去問にも取り組む高度専門ゼミである。三森教授は一人一人に徹底した指導を行っており、「ゼミで学んでいる法律的な知識を生かしたい」と受験を決めた鈴木さんをサポートした。



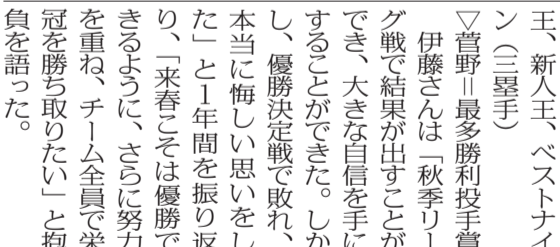
表彰選手は次の皆さん。(敬称略)

【春季】  
▽菅野一樹(経営1・宮城県聖和学園高、投手) 優秀選手賞、新人王  
▽小野侑宏(経営3・宮城県聖和学園高) 二塁手  
▽小野寺悠真(経営2・宮城県東北生活文化大学高) 二塁手  
【秋季】  
▽伊藤甲斐(理工2・岩手県専大北上高) 優秀選手賞

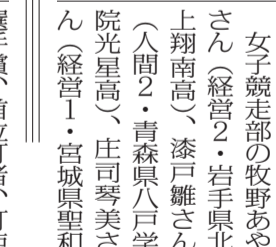
## 釣石神社でしめ縄づくり



落ちそうで落ちない巨石を祀る神体とし、受験の神様として有名な釣石神社(石巻市北上町)のしめ縄づくりが行われ、硬式野球部の部員ら10人が参加した。

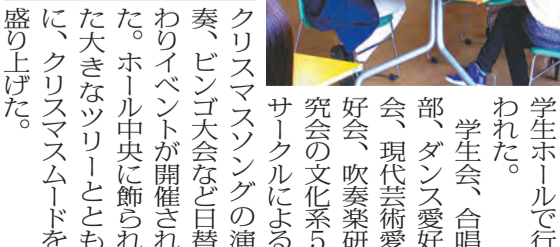


「東日本選抜」に3人エントリー  
富士山女子駅伝  
女子競走部の牧野あやさん(経営2・岩手県北上翔南高)、漆戸雛さん(人間2・青森県八戸学院光星高)、庄司琴美さん(経営1・宮城県聖和学園高)が、東日本選抜チームのエントリーメンバーに選出され、12月30日に行われた全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山)に参加した。

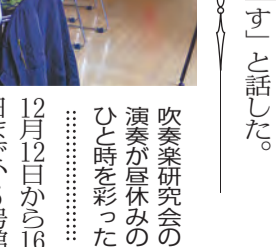


左から、泉田利治監督、庄司さん、牧野さん、漆戸さん

山女子駅伝)に参加した。大会前日にオーダーが発表され、レースには2人が出場した。4区(4・4区)の牧野さんは、15分48秒(区間21位)で5区の庄司さんにタスキをリレー。10・9区の間長区間を任された庄司さんは、力強い走りを見せ、38分48秒で区間15位と健闘した。東日本選抜チームは20位だった。



クリスマス行事  
毎年恒例の学生会(阿部貴之学生会長)と理工3部(青森県八戸西高)主催のクリスマスイベントが盛り上げた。



吹奏楽研究会の演奏が昼休みのひと時を彩った

12月12日から16日まで、5号館学生ホールで行われた。

学生会、合唱部、ダンス愛好会、現代芸術愛好会、吹奏楽研究会の文化系5サークルによるクリスマスソングの演奏、ビンゴ大会など日替わりイベントが開催された。ホール中央に飾られた大きなツリーとともに、クリスマススムードを盛り上げた。

## 三森ゼミ「宅建」に合格

鈴木さんは「最初はどのだと思いません」と話の知識もなく、合格できるか不安でしたが、ゼミの課題や過去問などに繰り返し取り組み、徐々に理解を深めていき、合格に合格した。同ゼミからの在学生の合格は初めて。

地や建物に関する取引の専門家、不動産業において欠かせない国家資格。就職に有利な資格で、毎年多くの人が受験する。10月16日に実施された2016年度試験(合格発表は11月30日)は約20万人が受験し、合格率は15.4%、合格者の平均年齢は35.3歳だった。

が前年に続き、ボランティアとして参加した。作業は12月11日に行われ、学生たちは氏子の手ほどきを受けながら、神体に巻かれる紅白のしめ縄と、地元産のヨシを使った茅の輪づくりに取り組んだ。最後は参加者全員で力を合わせ、完成した茅の輪を社殿に向かう階段の上り口に設置。新年を迎える準備を終えた。

れた茅の輪は「ヨシ合理高)は「少しでも地元の方々の力になることができてよかったです。皆様の大ききで、参拝者さんとコミュニケーションをとるながらの作業はとても楽しかった。新年は良い年になりそうだと笑顔を見せた。

山女子駅伝)に参加した。大会前日にオーダーが発表され、レースには2人が出場した。4区(4・4区)の牧野さんは、15分48秒(区間21位)で5区の庄司さんにタスキをリレー。10・9区の間長区間を任された庄司さんは、力強い走りを見せ、38分48秒で区間15位と健闘した。東日本選抜チームは20位だった。

同駅伝は富士山本宮浅間大社前をスタート、富士総合運動公園陸上競技場をゴールとする7区間43・8キロで行われた。全国の強豪18大学と三つの学連選抜チームが日本一を目指し、タスキをつないだ。

庄司さんは「良い勉強になりましたが、やはりチームで出場したい。そのうなるように頑張りました」と話した。